

低炭素社会の実現に向けて

～電力ビジネスと清掃工場～

エネルギー基本計画が見直され、再生可能エネルギーやコジェネレーションにより地域活性化や防災強化にもつながる自立・分散型の低炭素エネルギー社会を実現していくことが進むべき方向とされています。

今回のシンポジウムは、廃棄物発電の推進に向けて、清掃工場のネットワーク化や、多様なエネルギーシステムを融通・最適化してコミュニティ全体の省エネ、エネルギーセキュリティ向上、デマンドサイドマネジメント等で、清掃工場における廃棄物エネルギーの高度利用について考えることをテーマに企画しました。環境省からは清掃工場の強靱化や、防災拠点について、自治体の電力ビジネス化については専門家による事例などを紹介いただき、自治体からはごみ発電のポテンシャルや、防災拠点やエネルギー供給拠点としての清掃工場についての取り組みを紹介いただきます。また技術解説としては、清掃工場を発電施設としてみて、規模の小さい施設でも廃棄物のエネルギーを最大限活用する技術など、最新情報を交えた講演をしていただき、その後「低炭素社会の実現に向けて～電力ビジネスと清掃工場～」について議論します。

2014年 **6月20日(金)**

13:30-16:30

場 所 江戸東京博物館ホール 東京都墨田区横網 1-4-1
(JR 総武線 両国駅西口下車徒歩3分、都営地下鉄大江戸線 両国駅 A4 出口 徒歩1分)

定 員 300名 (座席の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費 下記協賛団体正会員:3,000円 下記協力団体会員:5,000円 非会員:10,000円 自治体職員:4,000円 学生:3,000円

主 催 鳥取環境大学、(株)廃棄物工学研究所 **後 援** 環境省(申請中) **協 賛**:(一社)日本ガス協会

協 力:(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本廃棄物コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)廃棄物資源循環学会、有害・医療廃棄物研究会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、産業廃棄物処理業経営塾、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

プログラム

13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨

鳥取環境大学 学長 高橋 一
鳥取環境大学 サステナビリティ研究所長 田中 勝

13:50 基調講演:我が国の廃棄物発電と清掃工場の強靱化

環境省廃棄物リサイクル対策部廃棄物対策課
課長 山本 昌宏 氏

14:10 特別講演:廃棄物発電のビジネス化について

株式会社価値総合研究所主任研究員 加納 達也 氏

14:30 技術解説:廃棄物発電施設としてみた 廃棄物処理施設の建設・維持管理

(一社)日本環境衛生施設工業会
技術委員会副委員長 近藤 守 氏

14:50 休憩

15:10 地方行政解説:ごみ発電のポテンシャルと財政効果

東京二十三区清掃一部事務組合総務部企画室長事務取扱
総務部担当部長 柳井 薫 氏

15:30 地方行政解説:地域活性化と防災拠点となる清掃工場

武蔵野市環境部参事兼新クリーンセンター建設担当課長
木村 浩 氏 / 同主任 神谷 淳一 氏

15:50 質疑応答・パネルディスカッション 「電力ビジネスと清掃工場」

コーディネータ:田中 勝
パネリスト:上記講演者

16:30 閉会

申し込み期限
6月19日(木)

お申し込み方法

- ホームページ (<http://www.riswme.co.jp>) より参加申込用紙をダウンロードし FAX 086-239-5303 にて、お申し込みください。
- 【E-mailでのお申込】info@riswme.co.jp のメールでも受付しております。
※メールでのお申込の際は、裏面に記載してある申込内容をご記入のうえ送信をお願いします。

お振込み先

- りそな銀行 芝支店(普) 1490768 カ)ハヰフツコウカケンキョウシヨ
※参加費は事前振込でお願いいたします。また、お振込名については参加代表者個人名でお願いいたします。